



かみさまが ねがわれる こと

出エジプト 2章1～10節

さて、レビの家のひとりの人がレビ人の娘をめぐって、女はみごもって、男の子を産んだが、そのかわいいのを見て、三か月の間、その子を隠しておいた。(1～2) その子が大きくなったとき、女はその子をバロの娘のもとに連れて行った。その子は王女の息子になった。彼女は、その子をモーセと名づけた。彼女は、「水の中から、私」がこの子を引き出したのです」と言ったからである。(10)

問題が生じたとき、重要なことに直面したとき「どうしたらいいのかな」と自分で自分に質問することがあります。重要な決定の前に、神様が願われることは何かを質問しないなら、どんな結果になるのでしょうか。熱心に勉強して最善を尽くしても、世の中のお手伝いと、サタンのお手伝いをするようになります。とても努力したのに、結局、世の中にみな奪われて、サタンのお手伝いをするなら、どんなにくやしいでしょうか。

イスラエルのすべての男の子を殺せと言われた現実の前で、モーセのお母さんヨケベデは重要な決定をしました。神様が願われることを知って、献身することを決心したのです。のちにモーセはエジプト王女の息子になりました。そして、ヨケベデはモーセの乳母として乳を飲ませながら、神様が願われる契約をモーセに植えました。このように成長したモーセを通して、神様は正確な時にイスラエル民族を出エジプトさせる答えをくださいました。

神様が願われるのは伝道と宣教です。今日もカルバリの丘で約束された全焼のいけにえの十字架を握りましょう。そして、すべてのことをいちばん最初に神様に質問して、絶対契約を発見するように祈りましょう。



きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.



きょうのいのり

かみさま、ありがとうございます。かみさま、ねがわれることを質問して、従うレムナントになるように、みことばを契約として握る心をください。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



書いてみよう

きょうのみことばを聖書を開いて見つけて、声を出して読んでから書きましょう。



出エジプト 2:3～9 のみことば

Grid area for writing the Bible verse.

きょうのでんどう

あひと 会う人

じゅんび 準備する資料

Blank lines for writing preparation materials.



かみさまと そつうした レムナント サムエル

I サムエル 3章 3節

かみ のともしびは、まだ消えていず、サムエルは、神の箱の安置されている主の宮で寝ていた。

かみさまが創造されたとき、かみさまと人はとても近い仲でした。お互いに向き合っ
て疎通していました。そのような最初の人々がサタンにだまされてかみさまを離れて、
かみさまとの疎通が途切れしました。そのとき、かみさまはすぐに福音を与えて、疎通でき
る道をひらいてくださいました。イスラエルが時代ごとに福音をのがした時も、
かみさまは福音を回復して、かみさまと疎通するレムナントを準備されました。

レムナントのサムエルが生まれた時代は、福音が消えて、祭司（牧師）の霊的な
目は暗くなっていた時期でした。そのとき、幼いサムエルは、契約の箱のそば
で横になっていました。牧師の目は暗かったのですが、かみさまは契約の箱を通して
ずっとみことばをくださっていたのです。サムエルは契約を伝えてもらい、かみさま
とイスラエルの民が通じることができるようにしました。その結果、力ある人々
であっても解決できないことをして、福音をつたえし、祝福を味わいました。私
たちもかみさまが私にくださった契約を発見するように祈りましょう。かみさまと疎通
して、サタンがひざまずいて、現場が回復する祝福の座にいるようになるでしょ
う。



きょうのみことば



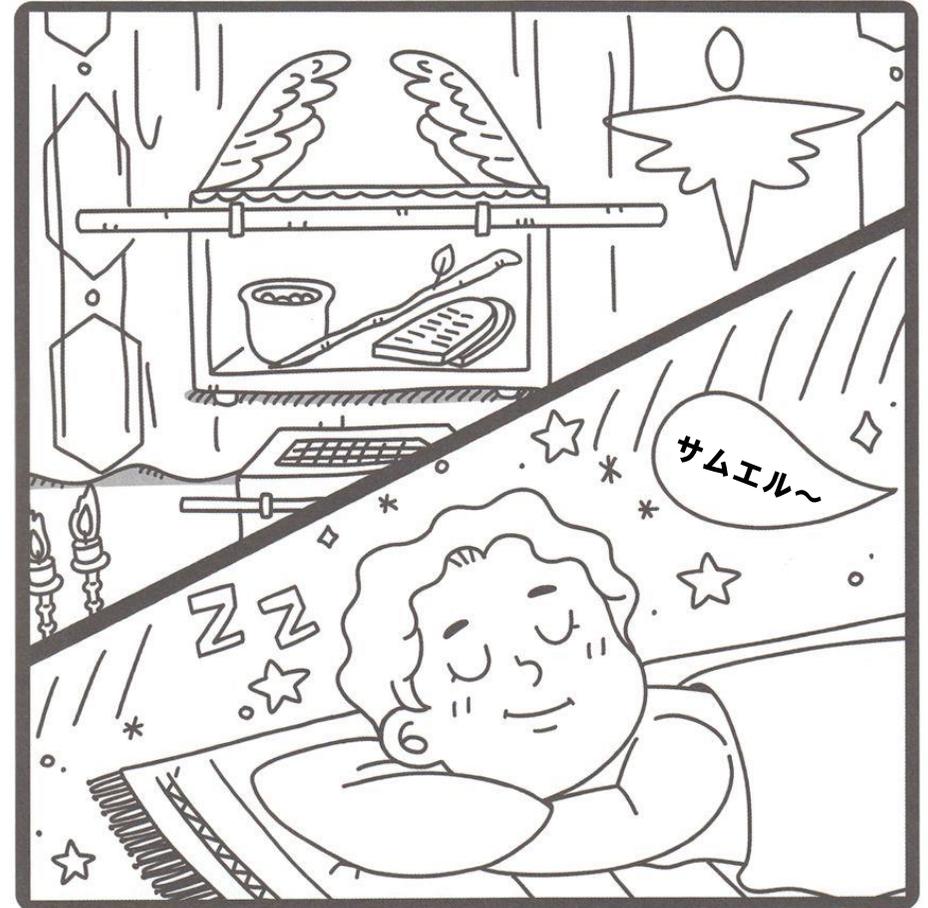
きょうのいのり

かみさま、ありがとうございます。サムエルのように、幼いときからかみさまのみことばに耳を傾けるレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



色をぬろう

かみさまと福音の契約によって疎通したサムエルの姿に色をぬりましょう。
わたしもかみさまと契約の中で疎通するように祈りましょう。



きょうのでんどう

あひと
会う人

じゆんび しりょう
準備する資料



イスラエルを たすけてくださる エベン・エゼルの かみさま

I サムエル 7章 12節

そこでサムエルは一つの石を取り、それをミツパとシェンの間に置き、それにエベン・エゼルという名をつけ、「ここまで主が私たちを助けてくださった」と言った。

神様を離れて契約をなくしたイスラエルの民は、まわりの国々が強大国になるたびに、奴隷、捕虜、属国という立場で、そのような国々の言いなりになるしかありませんでした。

そのとき、神様は、幼いレムナントのサムエルを通して、契約を回復されました。そして、イスラエルの民にミッションを伝えるようにされました。当時のイスラエルの民は、神様を信じている一方で、異邦の神々とペリシテの偶像に仕えて、霊的に墮落した完全な奴隷状態でした。サムエルはそのようなイスラエルの民をミツパに集めました。そして、子羊を全焼のいけにえとしてささげて、すべてのイスラエルの民のために祈りました。このようにして起きたミツパ運動を通して、神様はペリシテがそれ以上、イスラエルを困らせることができないようにされ、奪われた土地と全てのものを回復してくださいました。そのとき、サムエルは神様が助けてくださったことを賛美して、石を取って置いて「エベン・エゼル」と名付けました。

神様がレムナントにくださったミッションは何でしょうか。子羊であるキリストを握るとき、暗やみの勢力は崩れてサムエルに与えられたミッションが私のミッションとして発見できて、証人になるでしょう



きょうのみことば

Blank lines for writing the daily verse.



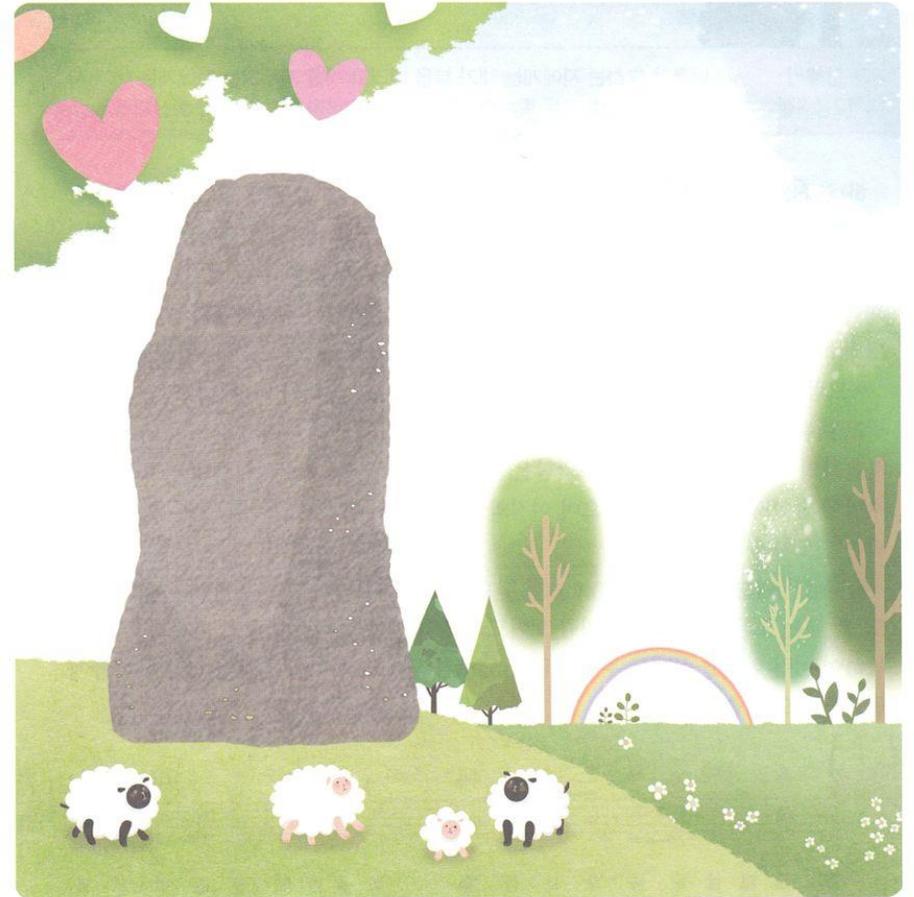
きょうのいのり

神様、ありがとうございます。サムエルが握ったミッションを伝えるように、私も現場でミッションを伝えるレムナントになりますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



みことばを 適用しよう

下にエベン・エゼルと言われる、助けの石があります。神様がくださる私のミッションを待ち望みながら、きょうのみことばから見つけた私の祈りの課題を、助けの石に書きましょう。



きょうのでんどう

あひと 会う人

Grid area for writing the daily devotion.

じゆんび 準備する資料

Blank lines for writing preparation materials.

08

ちくようび

げんばを いかす しゅじんこう

創世記
12章3節

あなたを祝福する者をわたしは祝福し、あなたをのろう者をわたしはのろう。
地上のすべての民族は、あなたによって祝福される。

神様を離れた人は、わざわざいと地獄の背景の中で生きていくしかありません。最初の方が神様を離れる原罪を犯して、神のかたちを失っただけでなく、わざわざの環境の中で生きていくようになりました。そのため、神様はすぐに福音をくださり、福音が回復するようにレムナントを準備して、福音を回復させて、世界福音化の祝福を味わうようにしてくださいました。

アブラムという名前は「高められた父」を意味します。やがて、神様の契約によってその名前がアブラハムに変わると、その名前のもつ「多くの国民の父」という意味のように、彼は世界福音化の祝福を味わいました。福音を知らない時、彼は衣食住に捕われたまま生きるほかなかったので、契約を悟って旅程の祝福を味わうようになると、すべての現場を生かす伝道者になりました。

神様はアブラハムと同じようにレムナントを呼ばれました。神様がいない現場は、人の目で見るとすべてが備わっている場所のように見えるのですが、そこはわざわざいと地獄の現場です。これからは、契約を回復して、そのような現場を生かす主人公のレムナントになりましょう。神様がくださった契約を心に抱いて、現場に出発しましょう。

きょうのみことば

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。アブラハムのように、契約の旅程を歩んで現場を生かす主人公になりますように。生きておられるイエス・キリストの名前によってお祈りします。アーメン



さんびしょう

こころに種をまきましよう

作詞：チョン・ソンハン
作曲：ソン・ヒギョン

♩=115

D DM7 Em7 A7 D G/A



こころのなか パッパッパ けいやくのたねまき
みずやりをーしましょ みーことばのシャワー

D DM7 F#m7 Em7 A7 D C/D



キリストのふくいん こころにたねをまこう
けいやくがびよるりん ふくいんか木になるよ

G A/G F#m7 Bm7 Em7 A7 D Em7 F#m7



まいにちおいのりー どんどんそだつ木

G A/G F#m7 Bm7 Em F#m7 G G#dim A



ふくいんかのピジョンでー ゆめの実がむすぶよ

きょうのでんどう

あひと
会う人

じゅんび しりょう
準備する資料

わたしは キリストの たいし

17 D DM7 Em7 A7 D G/A

こころのなか パツパツパ けいやくのたねまき

21 D DM7 F#m7 Em7 A7 D

けいやくのたねが せかいを 生かします



1 ペテロ
2章 9節

しかし、あなたがたは、選ばれた種族、王である祭司、聖なる国民、神の所有とされた民です。それは、あなたがたを、やみの中から、ご自分の驚くべき光の中に招いてくださった方のすばらしいみわざを、あなたがたが宣べ伝えるためなのです。

どこの国でも、他の国と外交をするためには契約を結ぶ必要があります。このように、まずは外交関係の契約を結んで、それから、お互いに自国の代表を相手の国に派遣します。このとき派遣される人を「大使」と言います。レムナントである私たちは神の国の大使です。聖書と教会史を見ると、レムナントは時代ごとに消えた福音を回復させて、福音の契約を継続するレムナント弟子を立てました。

初代教会の弟子は何の力も能力もない人々でした。しかし、イエス様がキリストであると信じて、聖霊でもにおられる神様の奥義を味わいました。それゆえ、彼らが行く所ごとに、王、預言者、祭司ができなかったキリストの大使の祝福を味わうことができました。強大な軍事力や経済力、知識、社会的な力は、世の中をいやすことはできません。キリストの大使の祝福を味わった初代教会の弟子を通して、ローマは250年後に福音化され、全世界に福音が宣べ伝えられました。

私たちは聖書の中のレムナントのバトンを渡されました。今、私のいる所は神様がキリストの大使であるレムナントにまかせられた現場であるという事実を忘れてはいけません。

きょうのみことば

きょうのでんどう

あひと 会う人

じゆんび 準備する資料

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。聖書の中のレムナントのように、まことの王、まことの祭司、まことの預言者であるキリストの祝福を現場で味わえますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



かみさまの つかい

使徒
1章 3節

イエスは苦しみを受けた後、四十日の間、彼らに現われて、神の国のことを語り、数多くの確かな証拠をもって、ご自分が生きていることを使徒たちに示された。

パパやママのお手伝いや先生のお使いをしたことはありますか。内容によっては、そのお使いが私から見て、めんどうに思えることもあるでしょう。ところが、大人はそのお使いに特別な意味をこめて頼んでいます。幼い時から絶対に必要な規律を整えるためです。神様は、みことばのお使いをするレムナントを時代ごとにたてられました。それはいつもみことばをなくした時代が始まった時でした。

初代教会の弟子は、福音を伝える人を迫害する時代を生きていました。それでも預言者、祭司、王もできなかった神様のみことばのためにお使いをしました。その結果、崩れない教会が立てられ、福音を伝えて各現場に弟子を立てていきました。レムナントのパウロは、そうして立てられた弟子のうちのひとりでした。パウロは会堂、講堂、現場を通過して、福音のみことばを伝えるお使いをして、プリスキラ、アクラ夫婦、ルデヤ、テモテのような神様のみことばをお使いする人を立てました。

神様は私たちを時代と世界を生かすレムナントとして、神様のみことばのためにお使いをする人として呼ばれました。現場のあちこちにいる多くの人に、私たちを通して、神様のみことばが伝えられるようにと祈りましょう。

隠れている絵
をみつけよう



三角定規、ドーナツ、十字架、ふで、ぎょうぎ、きゅうり

きょうのでんどう

あひと
会人

じゅんび
準備する資料

きょうのいのり

神様、ありがとうございます。神様のみことばのためにお使いをする弟子を立てますように。生きておられるイエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン